



☎秘書室 ☎88・2530
☎東京大学附属演習林生態水文学研究所 ☎82・2371

特集

東京大学附属演習林 生態水文学研究所って どんなところ？

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林(東大演習林)は全国に7か所あり、そのひとつが瀬戸にあります。それが「生態水文学研究所」です。1922(大正11)年に愛知県演習林として設置され、2011年に生態水文学の研究を推進する組織として改称しました。100年近くにおよぶ歴史をもつこの演習林は、私たちの暮らしや産業とも深い関わりがあります。なぜ瀬戸に東大演習林があるのか、どのような取り組みを行っているのか、そしてそこに関わる人々について紹介します。



赤津研究林 ハゲ山地帯

生態水文学研究所の位置

生態水文学研究所は、「赤津研究林」と「穴の宮試験地」、そして犬山市にある「犬山研究林」からなる東京大学の実験・実習地です。1,292ヘクタールのほぼ全域が緑に覆われています。



生態水文学研究所の取り組み

● 森と水の関係を研究しています。

山全体を実験区域として、山から流れ出る水の量を90年近くにわたって観測しています。それにより、森林という生態系が山全体の水の動きにどのように作用するかを調べ、森林がもつ機能を高めるための研究を行っています。

森に生息する動物や植物も、長期的に観察しています。赤津研究林にある実験区画では、全ての樹木を個体識別して、それらがどのように成長し、どのように枯れていくのかを調べています。



● 学生たちの実習を受け入れています。

砂防・治山工学や測量学などの学生実習を行うほか、森と人の関わりを考える人文・社会科学の教育も行います。東京大学以外の学生も受け入れています。



生態水文学とは、生態系とそこを循環する水の関係を研究する学問分野です。生態系における水・栄養塩・土壌・土砂の相互作用、森林の生態系サービス、そしてそれらと人間との歴史的・社会的相互関係を明らかにすることを、研究所のミッションとしています。



田中延亮 所長補佐 / 助教 広嶋卓也 所長 / 講師

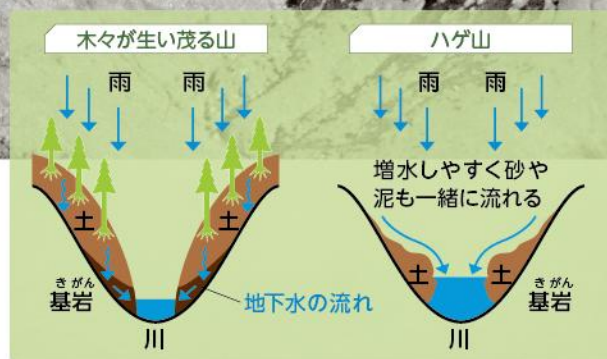


水野の荒廃丘陵地(昭和33年9月)

東京大学の演習林が瀬戸にある理由

明治時代、人々が森林の樹木を利用しすぎたために多くの山が「ハゲ山」となり、洪水や土砂災害を引き起こして大きな問題となっていました。

東京大学(当時:東京帝国大学)はハゲ山を再生させる研究に乗り出そうと「実習地」を探していました。そこに、愛知県知事が1905(明治38)年、愛知県でハゲ山再生の研究をするよう依頼したことから、愛知県と東京大学のつながりが始まりました。その後、瀬戸で東京大学のホフマンの指導による砂防工事を実施



ハゲ山による洪水や土砂災害のしくみ

するなど、関係を深めていきました。

そのころ瀬戸では、やきものを焼く薪のために大量の木を使い、周辺一帯の山々がハゲ山となっていました。そのため瀬戸が実習地に最適だと判断され、演習林が設置されました。日本にある大学の演習林のなかで、ハゲ山再生のために設置されたのはここだけです。



旧事務研究棟は現在の陶生病院、学生宿泊施設は図書館の位置。

瀬戸市と東大演習林の土地交換

東大演習林は当初、水野地区や現在の陶生病院を含む瀬戸の市街地まで広がっていましたが、1964年に現在の赤津研究林の一部と交換をしました。



東大演習林時代の水野地区 右奥に東谷山稜線(昭和28年11月)

東大演習林の歴史

1905年	愛知県知事が東京帝国大学にハゲ山再生工事の技術開発を依頼 東京帝国大学お雇い外国人ホフマンの指導により東印所町で近代的砂防工事を実施
1922年	東京帝国大学農学部附属演習林愛知県演習林を設置
1923年頃	東松山町に事務研究棟が完成、水野の丘陵地で学生実習の受け入れを開始
1937年頃	東松山町に学生宿泊舎が完成
1947年	東京帝国大学が東京大学となる
1964年	瀬戸市と東京大学が土地交換を行う
1965年	事務研究棟は五位塚町に、学生宿泊施設は北白坂町に移転
2011年	愛知演習林から生態水文学研究所に改称



水野での学生実習(大正13年)



東大演習林に関わる人々

赤津研究林では「赤津研究林サポーターズクラブ シデコブシの会」が活動し、生態水文学研究所を支えています。事務局の服部悟さんにお話を伺いました。

シデコブシの花

- 発足のきっかけはどんなことですか。
研究林を見学したい方のために案内をするボランティア団体として、研究所の要請により2008年に発足しました。
- どのような活動をしているのですか。
研究所の要請に応じて研究林の案内を行うほか、月に1度行事を開催しています。



シデコブシの会の皆さん

- どんな行事を行っているのですか。
きのこの観察や獣調査などさまざまです。「標石ツアー」も面白いですね。三国山と猿投山は尾張藩と三河藩の境目でしたから、標石がたくさんあるんです。
- 面白そうですね。今後の活動はどのようにお考えですか。
最近では他県の演習林や岩屋堂・定光寺などで活動することもあります。これからどんどんフィールドを広げていきたいと思っています。



瀬戸の森林の約20%を占める東大演習林を散策できます。会員以外の方もイベントに参加できますので、ぜひ一緒に東大演習林を楽しみましょう。



シデコブシの会 服部さん

生態水文学研究所と瀬戸市

赤津研究林の下流域には馬ヶ城浄水場の取水口があり、林内に降った雨は水道水の原水として利用されています。また、平成23年11月10日に、東大演習林の市民による利用や環境整備における協力体制を築くため「東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所と瀬戸市との間における地域交流に関する協定」を締結しました。この協定に基づき、今後も自然環境の保護・保全や、せと環境塾をはじめとする環境教育などにおいて相互に協力していきます。



東大演習林で開催

せと環境塾 サイエンスキャンプin東大演習林 参加者募集

問 環境課
☎88・2670

日時	9月3日(土) 午前9時30分~午後3時
講師	東大演習林生態水文学研究所職員
場所・集合場所	東大演習林生態水文学研究所赤津研究林
内容	研究林内散策や樹木伐倒デモの見学、山から出る水の流量測定、丸太コンロの紹介、流しそうめんなどを自然の中で楽しみながら実施するデイキャンプです。
対象/定員	市内在住・在勤・在学の中学生以上の方/30人程度
参加費	550円(テキスト代・保険料)

申込方法 電話・FAX・Eメールで①郵便番号、住所②参加者全員の氏名(ふりがな)、年齢③電話番号④講座名を記入し、お申し込みください。市ホームページからも申し込みできます。

FAX 88・2664 Eメール khozen@city.seto.lg.jp

締切 8月16日(火) その他 申込多数の場合は抽選。申し込みが10人に満たない講座は中止する場合があります。